

過去最大

令和8年度一般会計予算 154億1783万円
前年度比 約13億600万円(9.3%)増

大型事業 始まる

Next

(続) 予算審議

賛否明解

論点は「町民の幸せ」

峯岸町政1期4年の「集大成」となる 予算は

議長

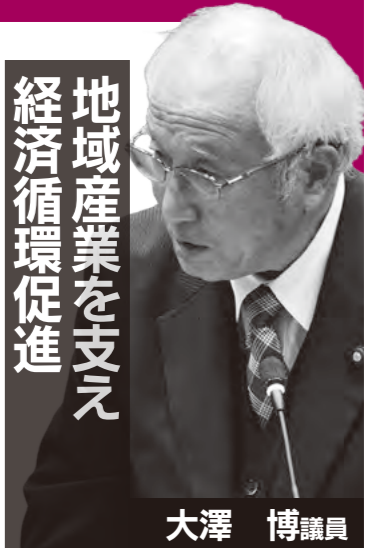


吉澤康広議長

令和8年度当初予算を審議する3月定例会。議員全員で慎重に審議し、一般会計(全員賛成)、他5会計(賛成多数)について可決した。峯岸町長の所信表明には「少子化対策充実・強化」「地域内経済循環の促進」「教育施策の充実・強化」「健康長寿事業の積極的展開」の4つの重点施策の推進をさらに加速し、第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の総仕上げの年に!との決意が述べられた。1期4年、峯岸町政が積み上げた成果をどう展開するのか? 重点施策ごとの各議員の質疑を紹介する。

地域内経済循環の促進 (主な事業: 地域通貨Yori-Ca事業、住宅改修資金補助金)

地域産業を支え 経済循環促進



大澤 博議員

問 住宅改修資金補助金の事業効果は10倍以上あり、地域内経済循環を促進している。今年度、予算の増額と次年度への繰越して、町民がさらに利用できるようにしなかつたのはなぜか。
答 改修工事が年度内に終了し、確認立会いが必要で、2月末には改修完了していることが条件のため、前年度と同じ予算額1000万円とした。

基金の役割を 明確にすべき



原口 孝議員

問 特定の目的のための基金(積立金)は将来への備えであると同時に、町の成長のための財源でもある。人口対策・産業振興・医療介護対策など町として基金を活用した政策投資の考えはあるのか。
答 基金の設置目的や町の課題、将来の事業予定などを踏まえて、適切な管理と運用に努める。

大型の予算編成 財源は大丈夫か



吉田正美議員

問 令和8年度は各種無償化や城南小学校の建設事業費等、大型事業による予算が編成された。財政の見極めは大丈夫か。
答 物価高騰による経常経費増加の影響は大きく、基金からの繰入れも大幅に増加した。厳しい状況下だが、子育て世代への支援のほか、町の課題に果敢に取り組みため、積極的な予算編成を行った。今後も特定財源や税収の確保を図り、健全な財政運営に努める。

町民が求める 町の名産品を!



本間政道議員

問 よりいブランド研究会の補助金が減額された。町民が求めるのは寄居町ならではの名産品やお土産だ。一品で良いので町が主体となつてつくることができないか。
答 昨年度は70周年記念事業だったが、8年度は例年ごとの予算計上となった。ブランド研究会の議論で新たな名産品のアイデアもある。今後ある程度の生産量が見込めるようになれば、予算の増額も検討。

地域内経済循環の促進

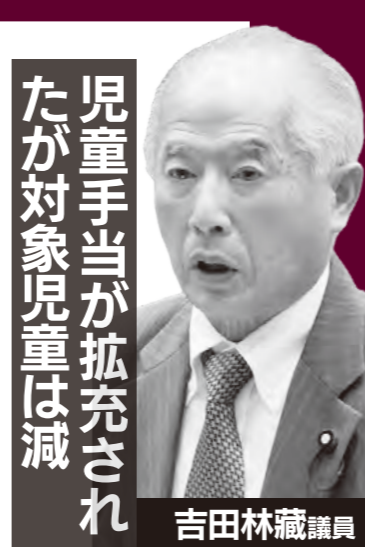
公会堂施設整備への 補助金拡充



稲山良文議員

問 公会堂は各行政区のコミュニティの場や自主防災の拠点として利用されている。誰もが利用しやすい施設となるよう整備が必要と考えるが、拡充した「コミュニティ施設整備事業補助金」の内容を伺う。
答 トイレの洋式化・空調設備・バリアフリー化にかかる補助率を従来の3分の1から4分の3に引き上げ、さらなる地域コミュニティの活性化を図っていく。

児童手当が拡充され たが対象児童は減



吉田林蔵議員

問 児童措置費減額の理由は。
答 令和6年10月から児童手当については、高校生年代まで児童手当の拡充・第3子以降の支給額を3万円に増額・所得制限の撤廃等の拡充により、令和7年度の支給状況を確認した。その上で、出生した子ども数や対象児童数が減少していることから、減額となった。

医療的ケア児の 受け入れ体制整備



鈴木詠子議員

問 公立保育所での医療的ケア児の受け入れが可能に。保育所の整備体制は。
答 男衾保育所で2名の対象児童が入所予定。日常的に医療的ケア(経管栄養等)が必要のため、2名の看護師を配置する。生活面では、2名とも通常の保育に参加が可能のため、保育士の加配は状況に応じて対応する。今後、必要であれば、保育士への医療的ケアに関する研修も検討する。

保育料完全無償化の 財源は



浅見玲子議員

問 保育料の完全無償化については、これまで何度も要望してきたが、財源の問題があったのではないかと。どのように捻出したのか。
答 令和8年度、国からの補助金の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を当てることとした。

少子化対策充実強化 (主な事業: 学校給食費・保育料無償化、城南小学校区学童新設事業)